



Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女22
----------	-----

年月日	2023 年 3 月 25 日 (土)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

## 公 式 記 録 用 紙

A	神戸星城高等学校										県立麻生高等学校										B
都道府県 岐阜県		市町村 岐阜市			会場 岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドームCコート										回戦 2回戦						
前半	A 17	B 6	最終 結果	A 28	B 19	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m罰 ポイント	A	B							
7m得点/総数		A 0/1		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 0/1		7m得点/総数						
		1	2 後	3				1	2 前	3											
		2818	1104				0913	1747	2329												

No.	神戸星城	G	W	2'	D	DR	No.	麻生	G	W	2'	D	DR
2	黒木優	3		1			1	箕輪さくら					
3	鶴谷真涼						5 C	千葉梓	4				
4	瀬戸心	8					6	根本優花	6				
5 C	矢野真尋	2					7	関川愛菜			1		
6	村田瑞季	1					8	大森涼奈					
9	和田夏由美						9	宮内彩羽	3				
11	後藤結香	2					10	濱田楓花	5		1		
12	由井美羽						11	谷古宇杏姫	1				
17	中野柚季	8											
20	向理緒												
21	伊原泉	2											
23	北和香奈												
24	中山果凜	2											
A	野路良子						A	阿部浩					
B	楠木胡桃						B	太田裕章					
C	長谷川諒						C	箕輪純					
D	野路嗣治						D	本谷風奈					

A	チーム役員 A 署名										B
---	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	井上 実奈子	小濱 沙也香		
TD	吉井 雅一	伏屋 俊成		
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	22	女子 [ ③ ]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会  
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月25日 (土)	会場	岐阜メモリアルセンター ふれ愛コート		
種別	女子	回戦	2回戦		
Aチーム名			Bチーム名		
神戸星城高等学校			県立麻生高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
28	17	前半	6	19	
	11	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	杉山 寛政		
<p>前半は麻生のスローオフで開始。神戸星城はNo.17中野の得点などで3連取し勢いに乗る。対する麻生はNo.6根本がサイドシュートを決めるも、5対1となったところでタイムアウトを要求。しかし、流れは変わらず神戸星城が7連続得点と大きく引き離す。麻生はたまたま2回目のタイムアウトを要求。ここから麻生は粘りを見せ、互角に試合を進めたが、17対6と神戸星城が大きくリードして前半終了。</p> <p>後半麻生はDFで粘りを見せ、神戸星城の勢いが鈍り、速攻やカットインなどでじりじりと点差を詰めていく。神戸星城は21対14となったところでたまたまタイムアウトを要求。しかし、流れは変わらず麻生No.6根本、No.10濱田の速攻等で点差を縮めていく。神戸星城もNo.4瀬戸、No.17中野の速攻等で踏ん張り、27対18としたところで麻生が3回目のタイムアウトをとるも流れは変わらず神戸星城が28対19で勝利した。</p>					